

中学部 作業学習指導案（木工グループ）

1. 単元名 「調味料入れを作ろう」

2. 指導についての考え方

(1) 生徒の実態

木工グループは1年生〇名、2年生〇名、3年生〇名の計〇名で構成されている。木工グループでの作業は全員が初めての経験である。木工道具を使った経験のある生徒もほとんどいない。

1学期当初は不安もあり、落ち着いて作業を続けられない生徒が多かった。しかし、基本的な作業の流れを繰り返し続けて行く中で、作業に集中する生徒の様子が見られるようになった。

また、道具や機械の使用にも慣れてきている。

1学期は、「かわいい台（のこびき）」・「はがき立て（釘打ち）」・「万能台（穴あけ）」を製作してきた。

(2) 単元設定の理由

「調味料入れ」の作業工程は、1学期に製作した「かわいい台（のこびき）」・「はがき立て（釘打ち）」・「万能台（穴あけ）」の作業を組み合わせた題材であり、学習の広がりが見込める。

材料の木材一枚の大きさが適当であり、加工しやすいので、作業の結果がわかりやすい。

また、各家庭で使ってもらおう、という目的に合った題材であり、この調味料入れをバザーで販売するので生徒の製作意欲を高めることができると考える。

(3) 指導にあたって

まず全員が自分の分の調味料入れを製作することで、作業の全行程を経験できるようにする。

その中でそれぞれの生徒の得意な作業、少しの支援でできる作業は何かを見つけていく。

自分の製品ができあがったあとは分業してバザー用の製品を作るので、その中でどの作業を分担するかを選ぶようにしたい。

また、できるだけ一人で作業ができるように補助具の工夫をしながら、生徒が満足感や達成感を味わえるようにしたい。

○教材教具の工夫

- ・くぎ打ちくん・・・玄能の高さが調節でき、左右にぶれずに同じ場所を一人でくぎ打ちをすることができる。
- ・穴あけガイド・・・ボール盤に板をセットし、レバーを最後まで下げて、レバーを離すと、安全に穴をあけることができる。
- ・板の固定枠・・・板を固定する枠を作り、その固定枠を作業台にクランプで止めることで、両手を使って板を磨くことができる。

○場の工夫

一人一人の生徒の得意な作業工程や、関心を持っている道具を見つけ、実態に応じて役割分担をして作業を行うようにする。具体的には板の切断・磨き・くぎ打ち・穴あけ・ニス塗り・といった5つの工程が分業される。各工程ごとに作業台に分かれて活動することになるので、生徒は自分の受け持った仕事内容が理解しやすく、また、その仕事に必要な道具類を自分で準備することができる。

○教師の関わりの工夫

本校の中学部の木工作業室はプレハブで、しかも作業学習にはとても適しているとはいえない広さの教室である。生徒はこの狭い空間でも作業学習に慣れ、作業の内容を理解してがんばろうと一生懸命努力をしている様子が伺える。しかし、どうしても機械や道具類を使用する際に大きな音が出ることや、のこびきや組み立てに関わる最低限の動作をするための広さを保証するためにはある程度の我慢を強いられることになる。

そこで、生徒一人一人の実態を細かく分析し、その生徒に見合った作業量や作業内容を設定し、本人のペースで作業をしていくことを大事にしてきた。狭い空間の中であるがゆえにたまるストレスを最低限にとどめながら活動を進めていくには、本人のペースで適宜休憩を取り入れメリハリをつけることが大切なことである。

また、機械・道具類も最低限の物ですむように課題を設定しており、その日の作業工程に必要な物を単純で、しかも明確に生徒に示すことができるようにしている。自分で道具類を準備できる生徒には写真や絵カードで示している。

3. 単元目標

- ・役割分担で受け持った工程に取り組むことができる。
- ・必要な道具や作業工程を覚え、自主的に準備や作業を進めることができる。

4. 生徒の実態と、個別の目標

	A (○年男)	B (○年男)	C (○年男)
個別の指導計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 作業工程を理解し、一人で取り組むことができる。 道具の使用方法がわかり、適切に使うことができる。 作品を完成させる楽しみを味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業に対する関心を高め、一定時間、集中して活動に取り組むことができる。 作業工程を理解し、見通しを持って自主的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題が、「仕事」につながっていくという意識を高めながら、「仕事」と「余暇活動」の区別をつけることができるようになる。 巧みな技能を發揮でき、楽しく製作することで、充実感をもつことができる。

単元に関わる実態	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて作業に取り組むことができ、集中力もある。 木工道具の使い方や組み立ての手順を示せば、一人でも作業に取り組むことができる。 釘を打つときに力を入れすぎるときがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業学習のリズムができ、本人のペースで安定して取り組むことができるようになった。 難しい課題や、道具の準備でわからないことがある時にうまく伝えられずにかんしゃくを起こすことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業の時間は好きで、意欲的だが、与えられた課題＝仕事をする、という意識より、材料を自分の好きなように加工して好きな物を作りたい、という意識の方が高い。 道具類の扱いが巧みでとても器用であり、豊かな発想力を持っている。
単元における目標	<ul style="list-style-type: none"> 作業の手順に慣れ、自主的に準備・作業・片付けを行う。 「調味料入れ」を完成させる楽しみを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 「磨き」「切断」の2つの作業に対して、見通しを持って一定時間取り組むことができる。 要求や思いを言葉で伝え、作業をスムーズに行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 決められた量の課題(磨き)に取り組むことができる。 「仕事」と「楽しみ」の区別をつけながら作業学習に取り組むことができる。
支援の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 組み立て作業の始めは、教師と一緒にいき、手順を理解したら一人でも作業できるようにする。 部材が左右にずれたり、打つときにぐらつかずに確実にくぎ打ちができるようにするために、補助用の板を使うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間の授業における、本人の目標を明確に提示する。(板を2枚切断・磨く) 切断と磨きの作業を交互に取り組むことで、飽きがこないようにする。 本人のペースで作業し、適宜休憩を取り入れたり、できたことを賞賛して安心できるように声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 本人用の作業プランを示したカードを提示し、決められた課題に、一番に取り組んでいくことを確認する。次に、課題を終えた後の「ごほうび」を取り入れて良いことを伝え、自分の作りたい物を絵や文字でプランカードに描くようにする。 <p>あくまでも作業学習は仕事につながるという意識を持たせながらも、楽しみや本人の発想力や個性が生かされる時間になるようにする</p>

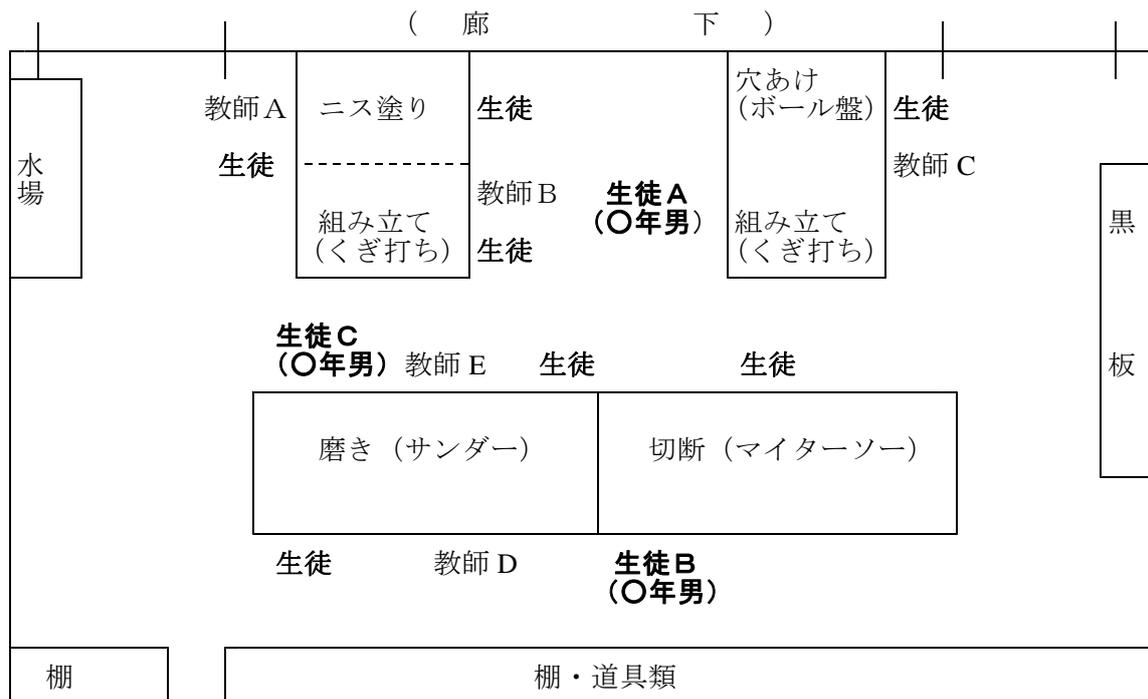
5. 指導計画 ・ ・ ・ ・ ・ 計 26 時間

	単元計画	主な活動内容
第1次 (1時間)	・ 導入「調味料入れを作ろう」	・ 参考作品を見る。 ・ 調味料入れができあがるまでの工程を確認する。
第2次 (7時間)	・ 「試作品を作ろう」	・ 板の切断・磨き・穴あけ・組み立て・ニス塗りの全工程を経験して、自分の調味料入れを製作する。
第3次 (16時間)	・ 「バザーに向けて調味料入れを作ろう」 ・ ・ 本時 4 / 16	・ 板の切断・磨き・穴あけ・組み立て・ニス塗りの工程を生徒の得意分野に応じて分業して製品を作る。
第4次 (2時間)	・ 「調味料入れの仕上げをしよう」	・ 組み立て、ニス塗りをした調味料入れを、さらに耐水ペーパーで磨き、つやを出していく。 ・ 美しく、商品価値のある製品にするための仕上げをする。

6. 本時について

本時 年 月 日 () 第○校時
 場所： 中学部○○室

(1) 教室環境



(2) 準備

- | | | |
|--------------------|--------------|--------|
| ・ マイターソー | ・ 磨き用、固定式補助具 | ・ サンダー |
| ・ 補助具付き玄能 (くぎ打ちくん) | ・ 紙やすり | ・ 釘 |
| ・ ボール盤 (ガイド付き) | ・ 刷毛 | ・ ニス |

(3) 本時の目標

- | |
|----------------------------|
| ○ 「調味料入れ」を楽しんで作ることができる。 |
| ○ 分業でそれぞれの作業工程に取り組むことができる。 |

(4) 展開 A (○年男)

学習内容・活動	A (○年男) 本時の目標
<p>1. はじめのあいさつ</p> <p>2. 本時の活動内容とめあてを確認する。</p> <p>3. 組み立ての作業を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板が動かないように補助具をセットする。 <p>・釘を打つ。</p> <p>・もう片方の底板と側板を結合する。</p> <p>4. 後片付けをする。</p> <p>5. おわりのあいさつ</p>	<p>○組み立ての手順を理解し、一人で作業を進めることができる。</p> <p>○自主的に準備、作業、片付けを行うことができる。</p>
	<p>A (○年男) についての支援の工夫</p>
	<p>○エプロンをするように促し、作業の始まりを意識できるようにする。</p>
	<p>○参考作品を見せ、今日、組み立てる場所の確認をする。</p>
	<p>○必要な用具を示し、用具の準備を促す。</p>
	<p>○はじめは、教師が部材を置いて見せて、釘を打つ場所を示す。</p>
	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  →  </div>
	<p>○釘の打ち始めは、底板と側板の角合わせをしっかりと行っているか確認する。 (始めは教師が板を支えるなどの支援をし、慣れてきたら一人でできるようにする)</p>
	<p>○釘打ちの順番を確認する。</p>
	<p>○玄能の半球面で部材を傷つけないように力を加減してまっすぐに釘を打てるようにする。</p>
	
	<p>○組み立てたら、所定の場所に置くように促す。</p>
	<p>○使用した道具や補助具を所定の場所にもどす。</p>
	<p>○机の上をぞうきんできれいにふく。</p>
	<p>○エプロンをたたんでなおす。 (自主的に片付けを行えるように声かけは最小限に留める)</p>
	<p>○次回の作業内容について確認する。</p>

展開 B (〇年男)

学習内容・活動	B (〇年男) 本時の目標
<p>1, 始めのあいさつをする。</p> <p>2, 今日の作業の内容とめあてを確認する。</p> <p>3, 作業の準備をする。 ①エプロンをつける。 ②道具を持ってくる。 Cクランプ (2本) マイターソー やすり</p> <p>4, 「切る」「磨く」の作業を進める。 ①「切る」2枚→ 「磨く」2枚→ お茶を飲む。 ②「切る」2枚→ 「磨く」2枚 ③ 外へ休憩に行く。</p> <p>5, 片付けをする。</p> <p>6, 終わりのあいさつをする。</p>	<p>○要求 (休憩したい, 替わって欲しいなど) がある時は言葉で伝えることができる。 ○一定の時間作業を続けることができる。</p>
	<p>B (〇年男) についての 支援の工夫</p>
	<p>○授業の始まりが意識できるように, 皆と一緒に声に出して号令をかける。</p>
	<p>○絵カードや写真カードを用い, 今日の仕事を確認する。</p>
	<p>○エプロンはできるだけ一人で取りに行くように声をかける。</p>
	<p>○自分1人で道具の準備ができるように, 道具類の写真カード (本時はCクランプ・マイターソー・紙ヤスリの写真) を用意する。</p>
	
	<p>○1つの作業工程に飽きさせないようにする為に, 細かく時間を区切り, 「切る」・「磨く」の作業を交互に行うように促す。</p>
	<p>○切るときに力が入りすぎてしまうことがあるので, 「やさしく, やさしく」と声をかけるようにする。 ○磨き上がりの目安になるように, えんぴつで薄く線を引く。 ○できたことを賞賛するようにし, 自分が「がんばっている」という安心感を持てるようにする。</p>
	<p>※作業途中の様子をしっかり観察し, 困っている様子や, 飽きてきた様子が見られたら, こちらから「休憩しますか」「先生と替わりますか」と声をかけ, 言葉が出るように促す。</p>
	<p>○自分の仕事が終わったら, 教室の外へ休憩をしに行く。</p>
	<p>○持ってきた道具を一人で片付ける。 ○できるだけ机を拭いて掃除をするように声をかける。</p>
	<p>○授業の終わりを意識できるように, 皆と一緒に声に出して号令をかける。</p>

展開 C (〇年男)

学習内容・活動	C (〇年男) 本時の目標
<p>1. はじめのあいさつ</p> <p>2. 自分の受け持ち作業を確認する。</p> <p>3. 1時間の活動の流れの確認をし、仕事の後の「ごほうび」での活動を描く。</p> <p>4. サンダーで板を磨く。</p> <p>5. 「ごほうび」の活動をする。</p> <p>6. 道具の片づけをする。</p> <p>7. 終わりのあいさつ</p>	<p>〇10枚の板の裏表を、サンダーで磨くことができる。</p> <p>〇仕事を終えてから、好きな活動をする。</p>
	<p style="text-align: center;">C (〇年男) についての 支援の工夫</p> <p>〇「仕事」をするという意識が高められるように、木工室に入るとまず、エプロンをするように促す。</p> <p>〇今日の受け持ち作業は「磨き」であること、必要な道具を本人用の作業プランカードで示す。</p> <p>〇本人用プランカードで、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 10枚の板の裏と表、磨く 2. 磨き終わった板の置き場所 3. 「仕事」が終わったら好きな物を作って良い。 <p>という確認をする。</p> <div data-bbox="724 819 1011 1160" data-label="Image"> </div> <p>←「ごほうび」で好きな製作をするところは、自分で描いて伝えるようにする。</p> <div data-bbox="651 1223 970 1460" data-label="Image"> </div> <p>〇磨き上がりの目安になるように、鉛筆で板の表面を少し汚す。</p> <p>〇細かい部分は紙やすりを使って手作業をするように声をかける。</p> <p>〇作業途中で脱線して好きな活動を始めようとしたり、勝手に道具を取りに行ったりするときには、軌道修正するためにもう一度、作業プランカードに振り返る。</p> <p>〇安全性に問題の無い限り、本人の意思を尊重して楽しい作品が作れるように指示を少なくする。</p> <p>〇一つ一つの道具の収納場所を確認して、片づけを進める。</p> <p>〇作業プランカードに〇をつけることで今日の作業に対する評価をし、賞賛する。</p> <p>〇次回の作業についての確認をする。</p>